

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第29週（令和7年7月14日～令和7年7月20日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

第29週は、蚊媒介感染症である、デング熱とチクングニア熱の報告がそれぞれ1件ありました。両疾患とも、海外で発生が確認されており、病原ウイルスを持つ蚊に刺されることで感染し、突然の発熱、頭痛、関節痛、発疹、筋肉痛等の症状が現れます。このため、流行地域へ行く際は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用する等、蚊に刺されないように注意しましょう。また、流行地域からの帰国後に発熱等体調に異状が見られる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	17	405	255	7,374
腸管出血性大腸菌感染症	8	103	129	1,166
チクングニア熱	1	3	1	10
デング熱	1	5	7	78
レジオネラ症	2	36	39	1,181
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	49	17	727
急性脳炎	1	21	5	302
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	46	18	823
後天性免疫不全症候群	1	23	10	442
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	19	10	421
水痘（入院例）	2	20	14	378
梅毒	10	419	187	7,441
百日咳	118	2,071	3,682	48,073

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル（※）

注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	411	3.37	1.00	9,263	2.40
インフルエンザ	85	0.70	2.24	956	0.25
急性呼吸器感染症	5,394	44.21	1.02	202,794	52.66
RSウイルス感染症	116	1.66	2.27	905	0.38
咽頭結膜熱	52	0.74	1.18	1,382	0.59
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	235	3.36	1.12	5,410	2.30
感染性胃腸炎	462	6.60	1.17	12,699	5.39
水痘	13	0.19	0.31	1,159	0.49
手足口病	43	0.61	1.13	1,351	0.57
伝染性紅斑（警報レベル）	208	2.97	1.00	4,847	2.06
突発性発しん	31	0.44	0.97	867	0.37
ヘルパンギーナ（警報レベル）	237	3.39	0.69	4,114	1.75
流行性耳下腺炎	2	0.03	0.50	169	0.07
急性出血性結膜炎	0	0.00	—	15	0.02
流行性角結膜炎	15	0.58	1.50	598	0.86
細菌性髄膜炎	0	0.00	—	10	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	—	28	0.06
マイコプラズマ肺炎	12	0.80	2.40	438	0.91
クラミジア肺炎	0	0.00	—	3	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	—	7	0.01

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。